資料２

令和7年度廃棄物施策の実施状況

(1)ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

① 広報誌「広報ひろさき」・「ひろさきだより」

掲載時期	掲載内容
毎月 1 日号 (8/1～)	ゼロカーボンひろさきチャレンジ！
5/1	ごみ集積ボックス設置事業費補助金の紹介
7/1	低濃度ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の期限内の処分
11/1	ごみの持ち去りに罰則が適用されます
1/1	令和8年4月から「プラスチック資源」分別収集を開始
1/15	新たに衣類回収ボックスを設置
2/1	「プラスチック資源」は無色透明袋で
2/15	「プラスチック資源」は無色透明袋で
	弘前市ごみ収集アプリ
3/15	「プラスチック資源」は無色透明袋で
	弘前市ごみ収集アプリ

※農業ひろさき:7/1 号「農業ごみの適正排出」
10/1 号「不法投棄・野焼き防止の啓発」

② ごみ減量化・資源化啓発広報誌

配布時期	掲載内容
3 月号	プラスチック資源の分別収集が始まります

※広報ひろさきと同時配布

③ ラジオ広報 FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」

（毎月第 2 水曜 11:30～11:40 頃放送（10 分程度））

放送日	放送内容
4/9	弘前市ごみ収集アプリ・有害ごみについて
5/14	ごみ集積ボックス設置事業費補助金について
6/11	ひろさきタベスケについて
7/9	衣類回収ボックスについて
8/13	古紙回収ステーションについて
9/10	弘前市のごみの現状について
10/8	野焼きはやめましょう
11/12	ごみの不法投棄・資源物の持ち去りについて
12/10	年末年始のごみの出し方について
1/14	冬期間のごみの出し方とお知らせ
2/11	家電の捨て方について
3/11	令和 8 年度からのごみ出しの変更点

④ 弘前市ごみ収集アプリ

50 音別分別ガイドや、収集日カレンダー、資源物拠点回収マップの機能を搭載した、スマートフォン用アプリを導入し、無料で配信しています。

年度	R4	R5	R6	R7
新規ダウンロード数	3,565	3,461	3,910	6,837



基本計画の関連項目 普及啓発施策―ア. 広報誌やインターネット等による情報発信（P. 33）

⑤ 出前講座【拡充】

講座名	実施回数	人数
1. ホントは知らないごみのお話 ～減量化って？資源化って？～	9	153
2. みんなで減らそう！食品ロス	8	209
3. ごみゼロゲーム【新規】	3	87
合計	21	449







基本計画の関連項目　普及啓発施策―ウ. ワークショップ型勉強会などによる周知啓発(P. 34)

基本計画の関連項目　普及啓発施策―イ. 環境教育の充実(P. 33)

⑥ プラスチック資源の分別収集に係る周知【新規】

ア 分別説明会		
個別の申込みによる説明会(R7 のみ)	45 回	約 1,300 人
市主催による説明会	8回	49 人
弘前地区環境整備センター	2回	14 人
サンライフ弘前	2回	11 人
ヒロロ(市民文化交流館ホール)	2回	22 人
岩木総合支所多目的ホール	1回	1 人
相馬総合支所多目的室	1回	1 人
保健衛生座談会	9回	146 人
イ リーフレット(広報ひろさき3月号と同時)配布		約 75,000 枚
ウ 広報ひろさきへの記事掲載		
1月号 (分別の内容)、2月号 (無色透明袋)		
ひろさきだより(2月 15 日、3 月 15 日号)		
4月号 (油汚れ)		
エ 市ホームページへの記事掲載		
オ 市民課カウンター上部のモニターでのお知らせ		
3月16日から4月末まで		
カ ごみ集積所への周知看板の設置(任意)		
リーフレットの一部を抜粋し A3 サイズにしたもの		
キ 市委託(パッカー)車へのマグネットシート貼付		35台
「令和8年4月からのプラスチック資源は無色透明袋で！」		
ク 市内スーパー、ドラッグストア等へのポスター配付		71 店舗
いとく、ユニバース、マックスバリュ、トライアル、カブセンター、ベニーマート、コープあおもり、コメリ、DCM、サンデー、ツルハドラッグ、薬王堂、サンドラッグ、MEGA、ハッピードラッグ、スーパードラッグアサヒ、マツモトキヨシ		
ケ アップルウェーブ(行政なんでも情報)		
3月 11 日放送		
コ SNS での周知		
市公式 LINE のお知らせ		
サ 弘前市ごみ収集アプリでの周知		
※分別一覧表の切り替えは 3 月 31 日からだが、HP へのリンクが掲載されていて、4 月以降の分別が見える状態		

(2)食品ロス削減関係事業

ひろさきタベスケ

ごみ減量化を図るため、web上のフードシェアリングサービスを導入し、食品をお得に購入したい市民と食品ロスになりうる食品を出品したい協力店舗をマッチングさせることで、食品ロスの削減による事業系一般廃棄物の減量化を図るもの。

・運用開始　令和 6 年 8 月 1 日
・ユーザー登録者数　2,779 人
・協力店舗数　20 店舗
・取引成立数　1,116 品
・食品ロス削減量　601kg
※令和 8 年 3 月 31 日現在



基本計画の関連項目　普及啓発施策―キ. 食品ロスの発生抑制・再資源化の推進(P. 34)

(3)古紙類回収ステーション

古紙類(新聞、雑誌・雑がみ)のリサイクルを推進するため、市内 4 カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。

令和元年度下半期から回収ステーションごとオフィス町内会へ加入することで、新たにダンボールを回収品目に加えたほか、令和 2 年度にはステーションの改装を行うなど、利便性の向上を図っています。

●回収ステーション設置場所(4 か所)

①市役所本庁舎　②岩木庁舎　③相馬庁舎　④総合学習センター

回収量(kg)	R4	R5	R6	R7
新聞紙	15,092	14,028	13,342	12,763
雑誌・雑がみ	45,890	53,205	45,935	40,346
ダンボール	8,095	9,546	8,926	9,964
合計	69,077	76,779	68,203	63,073



(4)新聞、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックの行政回収

古紙類(新聞、雑誌・雑がみ)のリサイクルを推進するため、平成 24 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

品目	R4		R5		R6		R7	
	回収量(kg)	売払収入(円)	回収量(kg)	売払収入(円)	回収量(kg)	売払収入(円)	回収量(kg)	売払収入(円)
新聞紙	433,730	3,917,422	398,340	3,780,645	358,050	3,621,402	369,440	4,294,903
雑誌・雑がみ	797,040	2,748,904	748,770	2,897,330	701,960	3,259,629	674,670	4,051,710
ダンボール					595,020	6,013,128	599,330	6,692,656
紙パック					24,145	79,671	23,225	78,366
合計	1,230,770	6,666,326	1,147,110	6,677,975	1,679,175	12,973,830	1,666,665	15,117,635

※令和 6 年度からダンボール、紙パックの売払いを実施

基本計画の関連項目 → 普及啓発施策―ク. 新聞、雑誌・雑がみ回収の推進(P. 35)

(5)使用済小型家電リサイクル

「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成 24 年度から圏域市町村(黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しているほか、平成 28 年 3 月に合同で国の認定事業者であるリネットジャパン株式会社と宅配便回収についての協定を締結しています。

※協定の締結は北東北の自治体初、定住自立圏関係市町村による同時締結は全国初
※中国のプラスチック輸入規制の影響で令和 2 年度から小型家電の回収は逆有償化

●回収ボックス設置場所(16 か所)

①市役所本庁舎　②岩木庁舎　③相馬庁舎
④総合学習センター　⑤ヒロロスクエア
⑥弘前地区環境整備センター　⑦ケーズデンキ弘前本店
⑧～⑩ユニバース堅田店・南大町店・松原店
⑪～⑯市内各出張所窓口回収(石川・裾野・高杉・新和・東目屋・船沢)
※⑪～⑯は窓口回収

回収量(kg)	R4	R5	R6	R7
ボックス回収	3,671	3,683	4,048	4,722
ピックアップ回収	10,619	8,891	8,790	7,125
宅配便回収	2,367	2,134	2,057	2,610
合計	16,657	14,708	14,895	14,457



基本計画の関連項目　普及啓発施策―コ. 使用済小型家電リサイクルの推進(P. 35)

(6)衣類回収

平成 27 年度から市役所などの公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しているほか、再生資源回収運動の回収品目にも追加しています。

●回収ボックス設置場所(17 か所)

①市役所本庁舎　②岩木庁舎　③相馬庁舎
④総合学習センター　⑤ヒロロスクエア　⑥清水交流センター
⑦千年交流センター　⑧北辰学区高杉ふれあいセンター
⑨イオンタウン樋の口　⑩ユニバース松原店　⑪いとく浜の町店
⑫サンデー石渡店
⑬～⑰市内 5 出張所窓口回収(石川・裾野・新和・東目屋・船沢)

年度	R4	R5	R6	R7
回収量(kg)	154,152	135,440	132,240	127,003



基本計画の関連項目　普及啓発施策―サ. 衣類回収の推進(P. 35)

(7)再生資源回収運動

町会・子ども会・PTA などの団体が、回収の日時・場所を決め、家庭から出る資源物を回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対し、回収量 1kg あたり 4 円の報償金を交付しています。

回収実績(kg)	R4	R5	R6	R7
古紙類計	1,009,971	903,631	827,411	639,399
新聞紙	406,461	362,532	326,192	276,407
雑誌類	232,956	194,112	183,227	145,045
ダンボール	355,615	334,181	304,640	206,298
紙パック	14,939	12,806	13,352	11,649
アルミ缶	42,860	39,934	38,483	31,861
衣類・布類	5,379	4,019	3,351	2,843
ビールケース	294	268	242	134
ペットボトル	27,730	28,345	29,006	27,974
びん	16,201	12,746	14,807	11,540
合計	1,102,435	988,943	913,300	713,751

基本計画の関連項目 経済的動機付けによる施策―チ. 再生資源回収運動の推進(P. 37)

(8)生ごみ堆肥化容器の斡旋補助

家庭から排出される燃やせるごみの約 4 割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入 1 基に対し、2,000 円の補助金を交付しています。

年度	R4	R5	R6	R7
補助基数	20	7	5	21
補助額(円)	40,000	14,000	10,000	42,000

基本計画の関連項目 経済的動機付けによる施策―ツ. 生ごみ堆肥化容器の購入補助(P. 37)

(9)廃棄物減量等推進員

町内のごみ問題を把握し、ごみの適正排出、分別促進、不法投棄防止のための指導等を行うため、各町内会に推進員を配置しています。

年度	R4	R5	R6	R7
設置町会数	279	227	279	260
配置人数	634	635	625	581

基本計画の関連項目　市民や事業者の協力による施策―ヌ. 廃棄物減量等推進員の活用(P. 38)

(10)ごみ出しサポート事業

高齢者や障がい者など介護が必要な世帯で、ごみ集積所までのごみ出しが困難となっている世帯を対象に、通常の収集とは別に、市の職員が週 1 回、自宅前まで収集に伺うごみ出しサポート事業を令和 2 年度から開始し、ごみ出しに係る負担の軽減を図っています。

年度	R4	R5	R6	R7
サポート世帯 (利用者数)	159	200	198	192





基本計画の関連項目　その他―ミ. ごみ出しサポート事業（P. 40）

(11)水銀添加廃製品の回収

平成 30 年 1 月から水銀添加廃棄物の適正な分別・回収の促進を目的に、家庭内に眠っている水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計等を回収しています。

回収窓口	本庁舎(環境課)、 市民課駅前分室(ヒロロ3F)、 市民課城東分室、 岩木総合支所民生課、 相馬総合支所民生課、 東目屋出張所、船沢出張所、 高杉出張所、裾野出張所、 新和出張所、石川出張所



基本計画の関連項目 > その他―メ. 処理困難物への対応(P. 40)

(12)事業系ごみ適正排出指導

事業系ごみの適正排出を促進するため、平成 27 年度より、職員による事業所訪問を実施し、ごみの分別・排出状況を確認し助言・指導を行っています。また、市のごみ収集運搬委託業者である弘前環境管理協同組合の協力を得ながら、本来事業系ごみとして排出すべきごみが家庭系ごみとして集積所等に排出されている状況を調査し、排出元を特定・指導を行っています。

年度	R4	R5	R6	R7
指導件数	50	62	79	71

基本計画の関連項目 > 普及啓発施策―ケ. 事業系ごみの適正分別・適正排出の推進(P. 35)

(13)オフィス町内会の推進

平成 22 年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。平成 30 年度末からは、各団体との協定の中で、オフィス町内会への積極的な加入を呼びかけています。

●回収品目及び対象地区

回収品目	(1)一般古紙(無料) ダンボール、新聞等(新聞、チラシ)、その他の紙 (2)機密文書(有料)
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、 田舎館村、西目屋村

●会員数及び回収実績(弘前市分)

年度	R4	R5	R6	R7
会員数(累計)	417	424	426	432
回収量(kg)	528,027	549,908	519,121	484,397

●県内 4 地区回収実績推移(kg)

年度	R4	R5	R6	R7
青森地区	236,263	230,003	206,871	200,901
弘前地区	721,600	671,993	665,366	623,139
西北五地区	77,530	65,658	71,937	64,096
十和田地区	231,484	212,216	239,231	241,337

基本計画の関連項目 市民や事業者の協力による施策―ネ. オフィス町内会の推進(P. 38)